



Nishitokyo City  
西東京市

# 議会だより

第101号

令和5年5月15日  
(2023年)

〒188-8666 西東京市南町5-6-13 042-464-1311 編集/広報委員会 発行/西東京市議会

令和5年  
第1回  
定例会



「いこいな、みつけた!」西東京いこいの森公園にて

西東京市  
マスコットキャラクター  
「いこいな」



©シンエイ/西東京市



西東京市ホームページ  
「いこいな、みつけた!」

トピックス

## 令和5年度一般会計予算は、前年度比0.5%増の774億9,000万円に

令和5年度当初予算(一般会計、4つの特別会計、下水道事業会計)を可決しました。

7面へ

## ハラスメントのない西東京市議会に向けて

ハラスメントのない西東京市議会を目指し、決議、プロジェクトチームの設置、研修を行いました。

9面へ

10面	9面	8面	7面	6面	5面	4面	3面	2面
議案と結果 陳情の結果 次回定例会のお知らせ 会議の開催状況 会議録の公開予定	本定例会の討論 議会NEWS③ ハラスメントのない西東京市議会を	委員会の審査から	予算特別委員会の審査から	代表質問の要旨 ・生活者ネットワーク 代表質問者 後藤 ゆう子 一般質問の要旨 長井 秀和 (無所属③) 田村 ひろゆき (無所属②) 納田 さおり (無所属①) 議会NEWS② 令和4年度視察受入状況	代表質問の要旨 (4面に引き続き) ・日本共産党西東京市議団 代表質問者 大竹 あつ子 ・維新・国民民主・みんなの会 代表質問者 山崎 英昭	代表質問の要旨 ・西東京市議会公明党 代表質問者 佐藤 公男 ・立憲民主党 代表質問者 佐藤 大介	代表質問の要旨 (2面に引き続き) 議会NEWS① 採択された陳情への市の対応	市長の施政方針の概要 代表質問の要旨 ・自由民主党西東京市議団 代表質問者 坂井 かずひこ

紙面の紹介(もくじ)

「声の市議会だより」をお届けしています。  
(デジター版・CD版)

お知り合いの方でご希望の方がいらっしゃいましたら  
谷戸図書館(☎042-421-4545)へお問い合わせください。



### 代表質問・一般質問の要旨

第1回定例会では、市長の施政方針に対して、会派ごとに質問をする「代表質問」と無所属議員による「一般質問」が4日間にわたり行われました。

2面～6面では、市長の施政方針及び代表質問・一般質問の主な内容についてお知らせします。◇質問の詳細は会議録に掲載します。「会議録の公開予定」は10面をご覧ください。本会議の様子は議会インターネット中継から視聴することができます。QRコードからアクセスしてください。



議会インターネット中継

### 市長の施政方針の概要



2月24日の本会議において、市長が施政方針を表明しました。詳細は市報3月15日号、市ホームページでご覧いただけます。



池澤 隆史市長

ポソオフセツト事業の検討を進めるとともに、幼少期からの環境学習にも力を入れていく。また、公共施設のLED照明への改修を進める。

利便性の向上に向けた「DX(デジタルトランスフォーメーション)」について

恒久平和への願いについて

西東京市から恒久平和への強い想いを発信する。新たに(仮称)子ども・若者平和ワークショップを開催する。また、平和のシンボルである田無駅北口の平和のリング等を復活させる。

次世代につなげる環境施策について

環境に配慮した製品に対する助成制度の導入やカー

受入枠の拡大や0歳児の一時保育事業の拡充を図る。また、幼稚園や保育園が行う安全対策に係る経費の一部補助制度の構築及び保育中の室内活動を見守るためのカメラの導入を行う。

市立保育園の施設整備として、1園の空調設備取り換え工事及び4園のトイレの洋式化を行う。

柳沢小学校の敷地内に学童クラブを整備し、令和7年度からの定員拡充を図る。授業の質の向上等を図るため、「学年教育アシスタント」を学級数の多い小学校8校に配置する。また、学校司書の配置を3校に2人に増員する。

学校施設の整備では、小中学校の体育館トイレの洋式化などの改修を実施する。健康で元気なまち

母子保健の分野では、家庭の状況を踏まえた伴走型の相談支援を充実させ、妊娠からの切れ目のない支援を行う。また、多胎妊娠の方の健康診査費用の自己負担分の一部助成及び健診費用の償還払いを実施する。

高齡福祉分野では、フレイル予防につなげるため、

「eスポーツ」の実施環境の充実を図る。また、地域包括支援センターに配置している認知症地域支援推進員の体制強化を図るなど、認知症の方への支援体制の拡充を図る。

障害福祉分野では、SOMPOグループとの包括連携協定に基づき、多様な障害がある方々への就労支援の取組を推進する。

市民まつりは、感染対策を実施した上で再開する。保谷こもれびホールについて、メインホールの環境改善やトイレの洋式化工事等を行う。また、ネーミングライツを導入する。

スポーツ施設の指定管理者によるインクルーシブスポーツの体験会など、パラスポーツの普及を通じたレガシーの醸成を進める。また、スポーツ施設のLED照明への改修及び総合体育館の防水改修工事を実施する。

中央図書館の開館時間を午前10時から午前9時に変更する。

下野谷遺跡について、復元した竪穴式住居などを活用し、縄文の森の秋まつりなどによる普及啓発を行う。

安心・安全で快適なまち

田無駅北口及び保谷駅南口のペDESTリアンデッキの環境整備に努める。予防保全の考えに基づき公園施設の長寿命化を目的とした計画を策定する。

雨水溢水対策として、芝久保町四丁目地内や向台町四丁目地内などの対策工事及び北原町一丁目地内や新町五丁目地内における設計等を行う。

倒壊等の危険性がある特定空き家等の除却費用の一部を助成するなど、快適な住環境の確保に努める。

防災分野では、「首都直下型地震等による東京の被害想定」を踏まえ、地域防災計画の修正に取り組む。

市民とともに発展するまち

全小中学校において、「西東京ふるさと探究学習」を実施するなど、地域で子どもたちの学びや成長を支え、ともに、学校を核とした地域づくりを目指す。

行政情報の発信力の強化に向けて、専門的な視点からアドバイスを行う任期付職員を配置し、より分かり

やすい広報活動に努める。物価高騰対策として、商店街活性化推進事業補助金の補助率の拡充を継続するとともに、キャッシュレス決済ポイント還元事業を実施する。

行財政基盤の強化を絶えず目指すまち

総合計画をはじめとした各種計画の策定に併せて、第5次行財政改革大綱を策定し、行政の効率化を図る。行政サービスにおけるエリア(圏域)の検討については、第3次総合計画に位置づける中で、地域の課題を地域で解決する体制づくりを進めていく。

公共施設の量と質の最適化を図るため、公共施設等総合管理計画を改定する。

庁舎の耐力度調査の結果や設備更新にかかる費用等の調査結果を踏まえ、庁舎統合方針の見直しを図る。

また、田無庁舎等における非常用自家発電設備の整備に向けた調査を行い、庁舎機能の維持体制の確保に努める。

保谷庁舎敷地について、一時的に開放するための環境を整備する。

要があることから庁内の検討組織にて策定状況を共有するとともに、個別課題を分野横断的に検討するための総合計画内プロジェクトチームを設置している。

ゼロカーボンシティの実現検討プロジェクトチーム、健康で元気なまち検討プロジェクトチーム、子どもにやさしいまち検討プロジェクトチーム、地域共生社会の実現検討プロジェクトチ

### 自由民主党西東京市議団

#### 市長の政治姿勢を伺う

#### 新型コロナウイルス感染症対策の進捗

#### 市の対応状況を伺う

#### 本年度の主な政策について

- 坂井 かずひこ
- 山田 忠 良
- 中川 清 志
- とみなが ゆうじ
- 保 谷 なおみ
- 稲 垣 裕 二
- 小 林 たつや
- 酒井 ごう一郎

### 市長の政治姿勢について

**意見** 地方自治体では首長と議会の議員は二元代表制として、共に住民を代表するところだ。それぞれの権能の中で抑制と均衡の取れた関係を構築し課題解決に向けた建設的な議論を進めることが求められるものと考えている。20万市民のため、市政を運営する市長として、議会とは緊張感と信頼関係を築きながら議会と

**問** 総合計画の策定について伺う。

**答** 総合計画策定審議会において、基本構想に位置づける基本理念や基本計画の検討を行っており、5月を目途に中間まとめを作成しその後、市民説明会やパブ

リックコメント等を予定している。計画策定のポイントである子ども施策の充実、SDGsの視点、ゼロカーボンシティへの取組やデジタル社会への対応などを踏まえ、分かりやすい計画となるよう検討していく。

**問** 総合計画と各種個別計画との連携は。

**答** 一体的なまちづくりを進める上で総合計画の目指す方向性等と整合を図る必



ーム、まちづくり検討プロジェクトチームの5つを立ち上げる。今後も各課への調査やヒアリング等を行い連携を図っていく。

問 グランドデザインの策定について伺う。

答 まちのイメージを共有することが大切であると考え、まちの将来ビジョンとなるグランドデザインを策定する。まちづくりの基本理念や目標、計画実現に向けた各計画に位置づける取組の概要等を未来の西東京のまちの姿としてイラスト等を使って示すことを想定しており、総合計画ではまちづくりのソフト部分、都市計画マスタープランではハード部分を表現したイメージを考えている。デザインは令和5年7月頃を目途に案を取りまとめる。

問 多摩地域のトップランナーという意識を持って早急に給食費無償化を行うべきと考えるが、見解は。

答 国に対して法改正等も含め学校給食費の完全無償化に向けた対応を望む要望を上げた。国及び都の動向を注視しつつ財源確保について調査研究していく。

意見 行革を進めており財源はあると考える。食育という、子どもが真ん中の政策を市長は訴えている。市長の判断で実現し前へ進めてもらいたい。

問 高校生等までの医療費負担ゼロについて、通院1回につき200円の実費負担はまだ残っている。23区は全面無償化となる。武蔵野市府中市、調布市、あきる野市は所得制限撤廃、通院200円撤廃とする。本市も早急に決断してほしい。見解は。

答 医療費無償化は東京都

市長会を通じて協議の場のスケジュールが示された。引き続き都や国へ要望する。

炭素社会の実現に向けた取組を推進する。こども基本法を踏まえ、平成30年10月に施行した子ども条例の理念を生かし、推進する側面を備えた子育ち・子育てワイワイプラン後期計画を策定、実施国や都の動向に注視しつつ10年間の次期計画の策定に向け準備する。



平和のリング

問 非核・平和都市宣言に基づく各種取組の課題は。問題解決のための取組は。

答 平和推進に関する条例の制定、非核・平和都市宣言、平和の日の記念事業などを行っている。

意見 戦争の記憶を消してはならない。市長の進める恒久平和の願いを引き続き進めていただきたい。

問 新型コロナウイルス感染症対策、ワクチン接種の進捗状況と今後の接種体制と医療機関の状況は。

答 接種の継続が了承された。追加接種のスケジュールは、追加接種可能な全ての年齢の方を対象に秋から冬にかけて1回接種を行い、重症化リスクが高い高齢者及び基礎疾患を有する方、医療機関や高齢者施設等の従事者の方は、春から夏にかけて前倒しして1回接種を行う案が了承された。医師会と協議を行い必要な体制確保に努める。

問 「ゼロカーボンシティ」に向けたこれまでの取組は。

答 本市は令和4年2月にゼロカーボンシティを宣言し、ガイドラインを策定し脱



ちぎゅうくん

めるべき。市長の考えは。昨年8月に書面開催方式による用地測量等説明会を開催。令和5年度までに都市計画事業認可を取得する予定。事業期間は事業認可取得から約15年間。西武新宿線井荻駅から西武柳沢駅付近、田無駅から花小金井駅付近、西武池袋線大泉学園駅から保谷駅付近、ひばりヶ丘駅から東久留米駅付近、この4区間が鉄道立体化の検討対象区間として位置づけられている。多摩北部都市広域行政圏協議会を通じて都や西武鉄道株式会社に対し要請活動を行ってきた。まずは都が施行する準備区間である井荻駅から西武柳沢駅間を着実に進める。その他3区間は引き続き早期実現に努める。

問 M U F G P A R Kは地域における新しい交流広場となることが期待されている。市としての銀行との関わり、オープンに向けた調整、交通面での安全対策は。

答 一般開放に向け、令和3年5月に三菱UFJ銀行と連携・協力に関する協定を締結した。地域住民、学校、事業者等との調整をはじめ、周知等について連携する。一般開放に向けた準備会を設け、庁内関係部署が銀行関係者と開園後の施設利用等に関する調整を進めている。安全対策は、施設沿道の西側に歩行者通路の整備を進め、交通整理の誘導員を配置するなど対応を図ると伺っている。

意見 M U F G P A R Kは災害時に大きな地域資源になると思う。共同の避難訓練の検討を。

問 連続立体交差化の進捗状況、今後の事業スケジュールは。田無駅から花小金井駅周辺の連続立体交差事業は。また、西武池袋線大泉学園駅からについても進

めるべき。市長の考えは。昨年8月に書面開催方式による用地測量等説明会を開催。令和5年度までに都市計画事業認可を取得する予定。事業期間は事業認可取得から約15年間。西武新宿線井荻駅から西武柳沢駅付近、田無駅から花小金井駅付近、西武池袋線大泉学園駅から保谷駅付近、ひばりヶ丘駅から東久留米駅付近、この4区間が鉄道立体化の検討対象区間として位置づけられている。多摩北部都市広域行政圏協議会を通じて都や西武鉄道株式会社に対し要請活動を行ってきた。まずは都が施行する準備区間である井荻駅から西武柳沢駅間を着実に進める。その他3区間は引き続き早期実現に努める。

止だけではなく犯人検挙にもつながるなど地域の安全・安心に寄与する。令和5年度から設置、更新を補助対象として追加した。

意見 駅前なども防犯カメラの設置を市が積極的に進めてほしい。

問 コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の取組と、その意義、現状は。西東京ふるさと探究学習の取組、期待することは。

答 小中学校7校をコミュニティ・スクールに指定し、学校運営協議会の委員に、PTA役員や青少年育成会、児童委員、避難所運営協議会、学校施設開放運営協議会、おやじの会などの方々に任命している。校内外の環境整備や安全見守り活動、休日の学校飼育動物の世話など様々な御支援をいただいている。地域の特色を生かした新たなカリキュラムを教育課程内に位置づけ、教員が地域と積極的につながり、関わりを深め、目指すべき児童生徒の資質、能力を地域と共有し、その育成に向けて指導力の発揮を期待している。

意見 G I G Aスクール構想やICT教育もある中、経験の貧困にならないよう進めてほしい。

問 職員が積極的に地域へ出向きつなげる必要性と、庁内の機運を生み出すための取組と研修体制は。

答 第3次総合計画、各種個別計画の策定過程でも、アウトリーチの手法を取り入れるなどの試みも実施している。

意見 職員が地域に出ていくことは大事で、各地域特有の課題や具体的な施策に関する意見は貴重だ。

議会 NEWS ①

採択された陳情への市の対応

市議会で採択された請願・陳情は、市長や教育長に送付され、その後の検討経過を市議会に報告することとなっています。ここでは令和4年に採択または趣旨採択された陳情について市からの報告をお知らせします。

Table with 4 columns: Item Name, Adoption Date, Item Description, and Reason. It details two petitions: one regarding COVID-19 vaccine information and another regarding diversity and gender equality measures.



### 西東京市議会公明党

## 公明党は市民生活を守るため 5人で市内を駆け回り 皆様の声を市政に届けます!

佐藤 公男  
八矢 好美  
田代 伸之  
大林 光昭  
藤田 美智子

**意見** 昨年の市議選において、多くの皆様の御支持で5人全員議会に送り出していただいた。掲げた公約実現に向け真摯に取り組んでいく。

**問** 第3次総合計画策定に向けて、我々が要望している子どもや若者、若手職員の声はどう聴いたのか。

**答** 未来を語るシンポジウム、子どもワークショップを開催。若手職員には所属以外の課題等の意見交換や発表の場を設けた。

**問** 中学校区ごとのエリア構築において、行政のDXにより、相談窓口だけではなく行政窓口も設置すべき。



田無第三中学校

**答** 利便性の高いサービスを検討する。田無三中の建て替えては他の地域のモデルケースとなるよう検討する。

**問** 新型コロナウイルスの5類移行により、地域医療の混乱を防ぐため、引き続き体制の確保を求めます。

**答** 医師会と連携し、発熱外来の運営継続を支援する。公共施設の男性トイレへのサニタリーボックスの設置を要望してきた。

**意見** リーボックスを設置する。ネーミングライツで得られる収入は文化芸術振興基金に繰り入れ、子どもたちの文化芸術活動の助成に使用すべき。見解は。

**問** 次期文化芸術振興計画策定の中で検討する。

**答** 20万都市にふさわしい新たなホールの検討を行うべき。現段階での見解は。

**問** 市民ニーズや他の事例調査等、次期文化芸術振興計画で検討する。

**問** 2025年に東京で行われるデフリンピックについても積極的に発信すべき。

**答** 本年1月にオランダのパラリンピアンと本市の小中学生が交流した。デフリンピックについても都と連携し機運醸成を行う。

**問** 会派として提案した住宅セーフティネットが実現する。概要を伺う。

**答** 家賃低廉化補助制度は、高齢者や障がい者等の専用住宅賃貸人に月額家賃を最大4万円補助する。専用住宅への改修費も補助する。

**問** 公明党の推進により通学路への防犯カメラ設置が進み、公園や繁華街への設置も要望。商店街への設置助成について伺う。

**答** 令和5年度は商店街1か所に助成する。

**意見** やマンホールトイレの整備等の防災対策を推進してきた。会派の先輩議員が取り組んできた避難行動要支援者及び災害時要援護者の個別支援計画の策定について改めて自治会や防災市民組織に名簿情報の提供を呼びかけてはどうか。

**問** 地域の皆様の協力が重要。災害時の安否確認方法の検討と共に、自治会等に協力を依頼する。

**問** 0歳児の一時保育の事業拡充の経緯を伺う。

**答** 本年7月より生後3か月からの一時保育を実施する。

**意見** 一時保育の持ち物が多すぎる。荷物を少なくする等の負担軽減が必要。

**問** 多胎妊娠の健診費用一部助成、健診費用の償還払い実施の経緯を伺う。

**答** 経済的負担の軽減、多胎妊産婦の相談・交流の場の充実、心身の健康管理の環境を整備する。

**意見** 他市では移動支援やヘルパー、ベビシッター助成なども行っている。二

**問** 公明党はこれまで、避難所運営協議会の強化、風水害による市のマイタイムラインの導入、防災備蓄品



ニーズを把握し、支援の拡充を求める。

**問** 空き家の近隣からの苦情相談が多い。市の対応は。

**答** 住宅課が窓口となり対応。必要に応じて都の空き家ワンストップ相談や関係機関とも連携している。

**問** これまで提案してきた公共施設のLED照明整備が本年度実施される。導入の考え方は。

**答** 電気使用量の多い施設分野から実施する。

**意見** 学校施設の整備予定がない。早期実施を求める。

**問** 認知症施策を進めるため、実効性のある支援体制を求めてきた。進め方は。

**答** 本年度、保健師・事務職員・医療専門職等、計3名を配置。併せて地域包括支援センターに各1名を増員し、体制強化を図る。

**問** 以前から求めてきた保谷庁舎での福祉丸ごと相談の検討状況を伺う。

**答** ニーズに応えるよう検討を進めている。

**問** こども相談室「ほっとルーム」に直接つながりにくい子どもたちの困り事や悩み事がたくさんある。それを受け止めることも、市ホームページの相談案内は連絡までに時間を要するため、迅速に対応できるようにすべき。そこで、LINEでの相談を提案しているが見解は。

各種平和事業を連動させ、一体的に取り組むべき。市長の考えは。

**問** 平和事業の参加をきっかけに別の事業にも関心を持てるような仕組みづくりなど、各事業間の連動性を高めていく。(仮称)子ども、若者平和ワークショップを

市長の政治姿勢について「子どもがど真ん中」のまちづくりとは。

**答** まち全体で子どもの育ちを支え、自分の意見を自由に表明することや、まちづくりに参加することのできる環境をつくること。

**問** 市長が思う平和とは。核兵器禁止条約の見解は。

**答** 戦争や争いがなく、差別、貧困、人権侵害などの諸問題が解消され、人々が健康で幸せな生活を過ごせる状態と考える。核兵器禁止条約は、平和首長会議を通じ、条約に署名、批准するよう要請をしている。

**問** 環境に配慮した省エネ型家電買換えに対する助成制度は評価するが、窓サッシなどのリフォーム全般に助成制度を構築できないか。

**答** 断熱改修を含め、助成対象品目については、引き続き研究課題として認識。フレイル予防について

**問** eスポーツの実施により、普段参加しないような方の動向に変化があった。今後の進め方は。

開催し、若い世代に平和への意識を持ってもらえるように取り組んでいく。

**問** 2018年以来、公設保育園の午睡の寝具に係る保護者と保育士の負担軽減を求めてきた。改善状況は。

**答** 就寝時の安全面を重視した寝具選びや各園で異なる環境面、保護者に御協力いただく作業等について検討し、新素材の軽量布団をリース方式により導入。保護者による洗濯や布団干しが不要となり、シーツの掛け替えを簡易なものとする。ことで、保育園職員が短時間で担えるようになる。

**問** 出張講座に加え、福祉会館など、身近な場所でのフレイル予防に取り組んでいく。

**問** 認知症対策について65歳以上から認知症になる方が増えてきている。もの忘れ予防検診の対象者は70歳からだが、65歳からにすべきと考えるが見解は。

**答** 認知症検診事業検討会の中で検討、議論いただき設定している。

**問** 整備後、バス等大型車の駐車スペースが確保できないとのことだが対策は。

**答** 学校教育などの活用に対しての課題と認識しており、今後検討していく。

**問** 防災について防災行政無線戸別受信機の配布状況と聞こえの改善について伺う。

**答** これまで2千200人の方へ貸与した。聞こえに関してはコミュニケーション波の活用を含め検討していく。

**問** 産前・産後の妊産婦への育児・家事支援はどのような取組があるのか。

**答** 個別ケアプランを作成し、育児・家事支援を実施。家庭の負担軽減、孤立化や産後鬱の未然防止を図り、産後も安心して子育てができる支援を行っている。

**意見** 子育ての大変さは、乳児期で終わりでない。産前・産後の妊産婦だけでなく、幅広い子育て世帯へ家事や子育てのサポートを行う、間口の広い伴走型支援となることを強く望む。

**問** 給食費の無償化を求める声に応じるため、市長、教育長の国への働きかけは。

**答** 東京都市長会を通じ、学校給食費の完全無償化に向け国の一律的な対応を要望した。教育委員会としては教育長会を通じ、給食費の無償化に向けた取組を本市の要望として提出した。

**問** 旧ひばりが丘中学校の跡地活用について伺う。

**答** 多角的な検討を行う。

**問** 保谷庁舎解体後の敷地活用について伺う。

**答** クローバーを植栽した広場として一時的に開放していく。

佐藤 大介  
菅原 みほ  
下田 純一  
森 しんいち



**空き家対策について**  
 空き家を市で借上げ、高齢者が集う場所や子ども食堂など公共的な場として利用してはどうか。  
**答** 公共的な利活用についても検討していく。

**新型コロナウイルス感染症対策について**  
 本年度はどのような行っていくのか。また、マスクの着脱についてトラブルやいじめにつながらないよう配慮していただきたい。  
**答** 西東京市医師会の発熱外来運営を支援し、市民の不安軽減に努める。マスク着脱については個人の判断を尊重し、その旨周知していく。

**道路行政について**  
 市内には歩道がない道路が多くあるが、新たに宅地開発が行われる際に、幹線道路に接する部分には必ず歩道を設けることを条例化できないか。  
**答** 人にやさしいまちづくり条例の規定にのっとり、開発事業者に指導していく。  
**問** 市内の道路に消えかけた白線を多く見かける。点検及び対応を問う。  
**答** 警察が所管する道路標示と市が所管する白線がある。日常のパトロールや通報があった際に適時対応している。

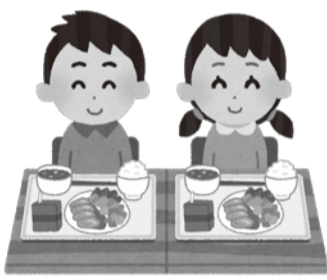


**市民会館跡地活用について**  
 市民会館跡地活用事業が進んでいない。工期が変更となるなら、市民と議会に丁寧な報告すべきでは。  
**答** 工期については社会情勢による影響等も受けているため協議中である。

## 日本共産党西東京市議団 給食無償化を早期に取り組み 子どもがど真ん中を示すべき

大竹 あつ子  
やまき 明美  
中村 すぐる

**市長の政治姿勢**  
 市長は地方自治法の本旨により、自治体の自主性・自立性を発揮し、市民の暮らし、命、健康などについて国や都がやらなくても最大限、市でできることは他に先駆けて率先して行っていく覚悟はあるのか伺う。  
**答** 次世代への責任ある選択を政策判断の基軸にしなから、市民サービスと行政運営の両面でバランス感のある市政運営に努めていく。  
**問** 学校給食の無償化  
**答** 給食無償化は直接子どもに届く支援となる。「子



どもがど真ん中」の市として学校給食の無償化に取り組むべきではないか。  
**答** 国・都の動向を注視しつつ、財源確保について調査研究していく。

子どもが希望する学校に通えていないと国連から勧告を受けた。本市では障がいがある児童・生徒が希望する学校で指導を受けられているのか。特別支援教室への入級判定で不適となったとしても保護者の意向に沿って対応してもらえるのか伺う。  
**答** 保護者の意向に寄り添った対応をしていく。  
**意見** 障がいがある方が希望する場所で学べるのは当然の権利だ。学校は合理的配慮の義務がある。保護者の希望を最大限受け入れる体制を徹底するよう求める。

**介護の人材不足**  
 ヘルパーの高齢化などにより、訪問介護事業を続けられなくなる事業所が増えている。在宅介護を重視しているなら介護人材の確保を次期介護保険事業計画に重要施策として位置づけるべきだが見解を伺う。  
**答** 次期計画において重要視する課題と認識している。水道水の有機フッ素化合物(PFAS)汚染  
**問** 多摩地域の地下水が高濃度で有機フッ素化合物に汚染され、保谷町給水所でも蛇口では暫定基準値内だが有機フッ素化合物が検出されている。市長はこの問題を公害として捉えているのか。基準の3倍を超える井戸水からの取水停止を都に進言すべきではないか。  
**答** 蛇口で暫定目標値を下

回っているので安全性に問題はない。都が管理しているのを把握していない。  
**意見** 市長は公害の認識について答えがないが公害の定義で言えばこれは公害だ。市民の健康を守る立場としていつまで静観しているつもりなのか。汚染された地下水の取水停止や汚染源の調査を申し入れるべきだ。  
**学生・若者への支援**  
**問** 2023年度当初予算には学生・若者世代への支援策が入っていない。学生等への応援特別給付金等を今年度も実施すべきと考えが見解は。  
**答** 物価高騰が長引いている状態を踏まえ、大学生などの若者の生活状況について注視していきたい。  
**意見** 市長の政策テーマである「子どもがど真ん中」

の「子ども」には、学生・若者世代も含まれる。学生や若者世代の支援策の財源として地域福祉基金を活用することを強く要望する。  
**問** 保育室へのカメラ設置は保育士監視につながりかねない。子どもの安全対策というなら、保育士等の人員を増やすべきではないか。  
**答** 保育士等は国基準を上回る配置をしている。市長会を通じて、配置基準の見直しを要望している。  
**意見** 保育士の過重負担は深刻。配置基準・処遇改善を国都に強く求めるべき。  
**補聴器購入補助制度**  
**問** 難聴は認知症のリスクを上げる。補聴器購入補助制度の見解を問う。  
**答** 医師会の意見、自治体の状況等調査研究する。

## 維新・国民民主・みんなの会 西東京市民のみんなのために 積極的な取組を！

山崎 英昭  
鈴木 ゆづま  
小峰 和美

**情報公開、説明責任、市民参加の徹底**  
**問** 市民一人一人が主役となる公平で公正な社会の実現には情報公開、説明責任、市民参加の徹底が不可欠だ。  
**答** 市民への丁寧な情報提供、分かりやすい説明、積極的な市民参加を促し、合意形成を図ることが市の役割として重要。情報公開は市政運営上でも大変重要だ。  
**問** コロナの検証と保健所設置  
**答** コロナ対策を検証し、20万都市の西東京市は保健所を設置して、主体的に保健衛生行政に取り組むべき。

**問** 市単独での保健所設置は医療資源や入院医療機関の確保、調整等をはじめ様々な課題がある。  
**問** 公共施設における再生可能エネルギーと蓄電池の活用に積極的な取組を。  
**答** 公共施設への太陽光発電設備の設置を進め、蓄電池の併用も検討する。  
**児童相談所の設置**  
**問** 西東京市の子どもの数は増加傾向にある。児童相談所の設置は必要か。  
**答** 事務を遂行するための人的体制等の整備が必要。

**問** 子育てしやすいまち日本一を目指している。今後レガシーをどう残していくのか。  
**答** 市長が先頭に立って宣言をし、子育てしやすいまち日本一を目指せ。  
**問** 子どもがど真ん中のまちを前面に打ち出してまちづくりを進めたい。  
**意見** 20万都市にふさわしい1千人から1千500人規模の大ホールが必要だ。  
**問** 東京オリンピック・パラリンピックでのオランダのホストタウンとしての交流や連携をレガシーとして、今後交流や連携を。  
**答** オランダとの交流は続いている。今後もレガシー

としてスポーツを通じた共生社会の実現を目指す。  
**意見** 鉄道の連続立体交差化の継続的な取組とひばりヶ丘駅西側、田無駅東側の踏切の早期拡幅を求める。  
**問** 農と福祉、子育てや教育と連携し政策を推進せよ。  
**答** 農業に触れ合う機会や農業の魅力普及啓発する効果的な取組だ。農業と様々な分野との連携を進める。  
**問** 公平公正で透明な支出や入札を大前提とした上で、市内経済活性化のため予算を市内で有効に活用すべき。  
**答** 市の発注案件に係る競争入札では指名基準に明記し公正性を担保しながら優先的な指名を行っている。  
**問** 保谷庁舎敷地内での新庁舎建設、田無庁舎と近隣施設の一体的整備による大ホール、中央図書館を核と

した文化芸術センターの建設推進を。  
**答** 市長選挙で統合時期を延伸し、現在の庁舎機能の最大限の活用を公約とした保育士の配置基準の緩和とより働きやすい環境に。  
**問** 全国的な保育園の事件、事故を受けて、施設内でのカメラ設置を検討しているが、人手不足、人員配置改善に力を入れるべきだ。  
**答** 保育士の待遇改善は処遇改善加算など充実を図ってきた。配置基準は、市長会を通じて国に要望する。  
**意見** 日本には潜在保育士



が98万人いるが、定着率が低い。全国では独自の支援で保育士労働環境の改善を実施した事例もあり、西東京市でも取り組むべきだ。子どもの有無に関係なく若者、現役世代にも支援を。  
**問** 子どもの有無でなく、本市を支える若者、現役世代の支援の充実を。返済不要の給付型奨学金など、若い人材を最大限バックアップし、活躍、人間的成長を願う応援するような制度の実施を。  
**答** 教育委員会として独自の奨学金等を創設する予定はしていない。  
**意見** 義務教育を終えると、子どもに対する支援は切れてしまう。大学生や新社会人など、市が人材に投資をし、背中を押してあげる、そんな支援を強く求める。



### 生活者ネットワーク 「平和」「環境」は高評価 子ども施策に本気度見せよ!

後藤 ゆう子  
かとう 涼子

**問** 施政方針に平和に関する丁寧な記載があり、評価する。平和への思いは。

**答** ロシアによるウクライナへの軍事侵攻を目的とした、改めて平和を守り、次の世代へつないでいくことの大切さを痛感した。令和5年度は、これまでの平和と事業に加え(仮称)子ども・若者平和ワークショップの開催など、若い世代の方々が平和に対して主体的に考える視点からの事業を取り入れる。

**問** ハラスメントに対する見解は。

**答** ハラスメントは人権に関わる問題であり、相手の名誉や尊厳を傷つけ職場の環境も悪化させる。

**問** 環境に配慮した市民まつりの具体的内容は。

**答** 市民まつり実行委員会が一括購入する環境に配慮した容器等を出店者の皆様に御使用いただくことなどによりプラスチックごみを削減するほか、従来の市民まつりと比較して温室効果ガスの排出量をどれだけ削減できているかを可視化するという取組などを検討してきている。

**問** 輸入小麦を使用したパンから残留農薬が検出されたとの報道があるが、給食に提供されるパンは安全性を確認しているのか。

**答** 小麦粉は残留農薬検査の基準をクリアしている。

**問** 大人の求める子ども像に適用しようと頑張る子どもたちは、昔とは比較にならないほど困難な子ども時代を生きている。ありのままの自分でいられる居場所が必要。川崎市子ども夢パークのようなプレーパークや不登校の子の居場所を公民連携でつくりたいか。教

**答** 小児科は残留農薬検査の基準をクリアしている。

**問** SDGsを踏まえた男女平等推進条例を制定せよ。



室に居場所がない子のために学校図書室を開放し、パーティションで区切りソファを置くなど、くつろぐスペースを整備できないか。  
**答** 放課後の子どもたちの多様な居場所の充実に努める。校内での居場所創設は各校と連携し検討する。



**問** 市民意識調査を踏まえ、市の考えを整理する。  
**答** 団塊の世代が2025年には後期高齢者となる。ケアラー支援は急務の課題。  
**問** 介護者の生活と人生の質の向上を支援する視点で要介護者、介護者ともに自分らしい安心した生活を送れるよう、多職種連携で取り組む。  
**答** 多様な障害のある方の庁内雇用と定着支援に向けた体制づくりを進めよ。  
**問** 職場実習により、短時間雇用の勤務体系や障害特性に応じた支援体制について引き続き検討する。

#### 一般質問

### コロナワクチンの副反応リスク 宗教信仰に関する児童虐待

長井 秀和(無所属③)

**問** コロナワクチン副反応リスクを西東京市として、どう捉えているのか。現行の救済制度で副反応被害者にどう向き合うのか。

**答** ワクチン接種では、一時的な発熱や接種部位の腫れ、痛みなどの比較的良好に起こる副反応以外にも、副反応による病気になるったり障害が残るなどの健康被害が生じることがある。救済制度では、予防接種によって健康被害が生じ、医療機関での治療が必要になったり障害が残ったりした場合、その健康被害が接種を受けたことによるものであると厚生労働大臣が認定した場合は、予防接種法に基づき、医療費、障害年金等の給付による救済が受けられる。

**問** 宗教信仰に関して児童虐待を受けた子どもが相談できる機関は。子ども自身が被害を訴えるか。

**答** 子どもの権利擁護委員が子どもからの相談を受け付ける窓口である子ども相談室ほっとルームをはじめ子ども家庭支援センター、子どもにとって身近な学校の教職員やスクールカウンセラー、学童や児童館。児童虐待の早期発見、早期対応には、子どもがSOSを発信しやすい環境づくりと様々な情報の集約から危険を早期に発見し、支援につなげることが重要。

#### 一般質問

### 市長は議会との緊張関係を保て! 市内5駅へ期日前投票所の設置を

田村 ひろゆき(無所属②)

**問** 昨年12月の市議選で特定政党の候補を応援。当時の議長とその前の議長は二連ポスターを製作した。議会の議長である議長と市長は特に緊張感を保つべきでは。

**答** 議員の方も政治活動として特定の議員を応援すると思う。私も同じように特定の候補者を応援することもある。

**意見** 特定の候補に肩入れをしているように見える行為が、市民にどう見えるのか。少なくとも議会の中では格差を設けずに情報提供していただきたい。

**問** 昨年12月の市議選投票率は38.66%で、依然として低い数字。受け止めは。

**答** 沿線自治体として今後多様な機会にお伝えする。

#### 一般質問

### 田無駅南口が無個性すぎる 将来展望のあるまちづくりとは?

納田 さおり(無所属①)

**問** 田無駅南口駅前広場の不満。駅前ビジョンが見えない、期待が持てないとの声が上がっている。計画的な景観形成に努めるという都市マスの方針にも反する。

**答** 田無駅周辺は中心拠点であり交通結節点。公共交通のつながりを持たせる。トルコ地震を教訓にし、建物の耐震化促進を求める。

**問** 首都直下地震の新たな被害想定では地域の74%が震度6強となる。建築物の耐震化、老朽化、既存不適格等を検証し、地震倒壊を防ぐ必要がある。見解は。

**答** 令和5年度は特定緊急輸送道路沿道建築物の補強設計2件、耐震改修2件が予定されている。木造は助成金の実績から耐震化が進んでいると認識している。

**問** 歴史まちづくりの推進を地域博物館を進めるために歴史文化のまちづくりの全体構想が重要。見解は。

**答** 令和5年度に次期文化財保存・活用計画を策定し、文化財の確実な保存と人づくりへの活用を進めていく。

**問** SDGs未来都市の実現へゼロカーボンシティ実現のため、SDGs未来都市を実現し補助金を獲得すべきだ。応募の検討状況は。

**答** 会議体による目標・成果・事業評価の進捗管理が必要になり、申請に当たり体制づくりが必要だ。

## 議会 NEWS ②

### 令和4年度の視察受入状況を報告します

市議会では、当市の先進的、独自性のある各種事業について、毎年、全国の多くの地方議会議員の方々による行政視察を受け入れています。

令和4年度は、「フレイル予防事業の取組」や「公園の指定管理制度について」、「議会改革について」等をテーマに、合計12団体を受け入れました。

視察の様子



フレイル予防事業の取組



公園の指定管理制度について



議会改革について

詳しくは市議会ホームページからご覧いただけます。  
(市議会ホームページQRコード「行政視察についてのお問い合わせ」ページ内の「行政視察の受入れ状況」をご覧ください。)





予算特別委員会の審査から

令和4年度補正予算、令和5年度当初予算及び補正予算の主な審査内容をお知らせします。◇質問の詳細は会議録に掲載します。「会議録の公開予定」は10面をご覧ください。

第1回定例会

令和4年度補正予算

◆一般会計(第12号)

【主な補正内容】

出産・子育て応援ギフト配布等による出産・子育て応援事業の関連予算や市内私立幼稚園の送迎バス安全装置設置に係る費用補助等のほか、決算見込みによる歳入歳出予算の整理・調整などによるもの

【主な質疑】

◆産・子育て応援事業

問 システム修正委託料による修正項目は何か。

答 事業における支援の内

容をシステムに加えるもの。問 本事業を含む支援全体の内容は。

答 様々な支援を合わせると、総額22万円相当となる。

◆高齢者配食サービス

問 サービスの認定基準は。

答 対象者自身のほか、同居の有無等である。

◆幼稚園の送迎バス

問 安全対策への補助金は。

答 補助上限額は、1台100万円、市内の幼稚園バスは対象になる。

◆結果】賛成全員で可決

◆一般会計(第13号)

【主な補正内容】

庁用車による交通事故の

◆結果】賛成全員で可決

◆国民健康保険特別会計(第2号)

◆後期高齢者医療特別会計(第2号)

◆結果】賛成全員で可決

◆令和5年度予算及び補正予算

◆一般会計及び補正予算(第1号)

【説明】歳出の主なものとして、自転車ヘルメット購入費用助成、市民まつりの実施支援、子どもLINE相談事業の実施、省エネ家電買替の助成、キャッシュレス決済ポイント還元事業、住宅確保要配慮者の民間賃貸住宅の入居促進に向けた取組、子ども図書館サービスなどの導入を行う。また、補正第1号予算として、新型コロナウイルスワクチン接種に係る費用を加えるもの。

【主な質疑】

◆公設公営保育園の保育室へのカメラ設置

問 カメラ設置について、現場職員からの声は。

答 特に反対意見はなく、

◆安全確認に資するものと考えている。

◆発熱外来

問 西東京市医師会が主体の発熱外来に対する市の負担割合は、どの程度なのか。

答 発熱外来で対応しているに、ほっとルーム等への人件費等を、市においてすべて負担している。

◆学生等応援特別給付金

問 西東京市独自の学生等応援特別給付金について、継続実施の考えはあるのか。

答 地方創生臨時交付金の動きにも注視しつつ、対策を早急に検討していく。

◆子ども地域応援企画提案事業とNPO等企画提案事業補助金

問 令和4年度までであった子ども地域応援企画提案事業は、「NPO等企画提案事業補助金」に一本化されてしまうのか。

答 予算科目上は一本化した、内容は二本立てとしている。

◆社会参加マッチング事業と生涯現役応援窓口

問 新規事業の「社会参加マッチング事業」と「生涯現役応援窓口」の関係は。

答 生涯現役応援窓口をポランティアや市民活動、社会参加について拡充した上で高齢者支援課に引き継ぐ。

◆個人市民税

問 個人市民税は、納税義務者が増え増収傾向にあるようだが、状況は。

答 各所得層にて、納税義務者数、所得ともに増えている状況と認識している。

◆ごみ収集手数料等

問 インボイスの導入に当たり、ごみ収集手数料等における消費税の考え方は。

答 税務署に確認し、現在調整中である。

子どもLINE相談とほっとルーム

問 子どもLINE相談の実施により、「ほっとルーム」の位置づけや役割に変更はあるのか。

答 LINE相談をきっかけに、ほっとルーム等への相談に対するハードルも下がるよう期待している。

◆まちづくりのランドデザイン

問 庁舎統合や田無駅南口のまちづくりを含むランドデザインの考え方は。

答 田無庁舎等の庁舎機能を最大限活用できる時期を判断し、庁舎統合の時期を示したい。ランドデザインは、様々な検討を行う中で適宜見直していく。

◆地球温暖化対策助成金(家電助成)

問 具体的な申請手続はないのか。

答 助成金の申請・交付の決定後、商品を購入し、領収書等を添えて報告いただいた後、助成金の支払いとなる。店舗に関し、地域的な偏在はないと考えている。

◆保谷庁舎敷地の活用

問 ボール遊びができる環境の検討は。

答 子どもたちの敷地からの飛び出しを防止するなど、利用される方々の安全対策を検討する中で考えていく。

◆キャッシュレス決済ポイント還元事業

問 一部の人がしか恩恵が受けられないのでは。

答 支払いまでの体験会の実施のほか、ICカードを導入予定としており、より多くの方に参加していただける環境を提供する。

◆自転車ヘルメット

問 購入助成に関し、実施

子どもLINE相談とほっとルーム

問 子どもLINE相談の実施により、「ほっとルーム」の位置づけや役割に変更はあるのか。

答 LINE相談をきっかけに、ほっとルーム等への相談に対するハードルも下がるよう期待している。

◆まちづくりのランドデザイン

問 庁舎統合や田無駅南口のまちづくりを含むランドデザインの考え方は。

答 田無庁舎等の庁舎機能を最大限活用できる時期を判断し、庁舎統合の時期を示したい。ランドデザインは、様々な検討を行う中で適宜見直していく。

◆地球温暖化対策助成金(家電助成)

問 具体的な申請手続はないのか。

答 助成金の申請・交付の決定後、商品を購入し、領収書等を添えて報告いただいた後、助成金の支払いとなる。店舗に関し、地域的な偏在はないと考えている。

◆保谷庁舎敷地の活用

問 ボール遊びができる環境の検討は。

答 子どもたちの敷地からの飛び出しを防止するなど、利用される方々の安全対策を検討する中で考えていく。

◆キャッシュレス決済ポイント還元事業

問 一部の人がしか恩恵が受けられないのでは。

答 支払いまでの体験会の実施のほか、ICカードを導入予定としており、より多くの方に参加していただける環境を提供する。

◆自転車ヘルメット

問 購入助成に関し、実施

時期のほか対象店舗等の制限があるのか。

答 5月上旬から受付開始の方向で準備。購入店舗は、東京都自転車商協同組合に加盟されている市内の自転車店の協力をいただく予定。

◆石神井川上流第一調節池工事

問 今後の工事スケジュール、市民への影響は。

答 令和3年度から4年度にかけて設計を進めている。工事内容や施工方法などが決まり次第、地元の方を対象に説明会を開催する予定と伺っている。

◆学校生活支援員

問 配置は、大規模校だけなのか。

答 1名配置が14校、大規模校を中心に3校で、1名の追加配置を実施する。

◆子ども電子図書館サービス

問 令和5年7月を目途に導入されるが、予算はどの

程度なのか。

答 児童書読み放題パックは約130万3千円、その他のものは約308万円。使用期間は、児童書読み放題パックは1年間、その他は2年間または52回という期間及び回数の制限があり、再度利用するには、改めて使用料が発生する。

◆ひばりが丘公民館トイレ改修工事

問 概要とスケジュールは。

答 和式便器を洋式化に、また、多目的トイレとしての改修を予定。工事は9月以降を予定し、工期は4か月ほど。期間中は、仮設トイレ2基を設置する。

◆結果】賛成多数で可決

◆国民健康保険特別会計

◆駐車場事業会計

◆介護保険特別会計

◆後期高齢者医療特別会計

◆下水道事業会計

◆結果】賛成全員で可決

当初予算比較表

Table with 4 columns: 会計区分, 令和5年度, 令和4年度, 伸び率. Rows include 一般会計, 特別会計, 国民健康保険特別会計, 駐車場事業特別会計, 介護保険特別会計, 後期高齢者医療特別会計, 公営企業会計, 下水道事業会計, and 合計.

※表示単位未満を四捨五入しているため、合計額と一致しない場合があります。
※下水道事業会計の予算規模は、支出予算の総額としています。

令和4年度一般会計補正予算の概要

Table with 3 columns: 補正予算, 主な補正内容, 金額. Rows include 第12号, 第13号, and 予算現額.

※予算現額は補正予算(第1号~第13号)を含みます。

令和5年度一般会計補正予算の概要

Table with 3 columns: 補正予算, 主な補正内容, 金額. Rows include 第1号 and 予算現額.

※予算現額は補正予算(第1号)を含みます。



### 委員会の審査から

議案や皆さんから提出された請願・陳情は、原則として所管の常任委員会等で審査を行います。ここでは、第1回定例会における各常任委員会での主な審査内容についてお知らせします。

◇審査内容の詳細は会議録に掲載します。また、常任委員会の模様は、常任委員会中継から視聴することができます。公開期間は、会議録が掲載されるまでです。



常任委員会中継

#### 企画総務委員会

「非常勤特別職の職員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例」

【説明】総務省からの通知に基づき、消防団員の処遇の改善を図るため、出勤報酬の創設、出勤報酬の額等、非常勤消防団員の報酬等に係る基準が定められたことに伴い、規定を整備するもの。

#### 【主な質疑】

問 費用弁償から報酬に変えた意図、意義は。

答 消防庁の検討委員会の報告書に「災害が激甚化・多様化する中、出勤手当が費用弁償のままでは、消防団員の報酬は年額報酬のみとなり、団員の活動や労苦に応じた報酬にならない。大規模な災害で複数の市町村に被害が生じている場合に、同じ災害に出勤しているにも関わらず、自治体によって出勤手当の額が異なる点は一般的に受け入れがたい」という意見が出された。こうした課題への対応として、これまでの費用弁償としての出勤手当については、出勤に応じた報酬制度、出勤報酬を創設するよう基準の中で定められた。

費用弁償は職務の執行等に要した経費を補うために支給される金銭、報酬は勤務量に応じた一定の水準が支払われるもので、勤務の反対給付という性格がある。この点で費用弁償と報酬は大きく異なるものと考えられる。他市との報酬格差等も含めどのような検証がされたのか。

答 年額報酬、出勤旅費は近隣市と比較しても標準的な水準だと消防委員会より

意見をいただいている。【結果】賛成全員で可決



「一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例」

【説明】今年度の一般職の職員の給与改定について職員団体との協議が調ったことから一般職の職員の給与を改めるもの。

#### 【主な質疑】

問 初任層から若年層の引上げに重点を置くことになった背景は。

答 公民較差の解消を図る中で、人材を確保したい観点から初任層に重点を置いたと報告に表記されている。例年12月に職員給与の見直しが行われているが、今回この時期に改定を行うことになった経緯は。

答 通常、行政職給料表(一)と一緒に改定をしているが、今年度は12月議会の日程が若干早かったこと、労使交渉の日程、各市の改定状況等の確認もあり、今回の上程に至った。

【結果】賛成多数で可決



#### 文教厚生委員会

「国民健康保険条例の一部を改正する条例」

【説明】健康保険法施行令の改正により、出産育児一時金の支給額を、48万8千円に、後期高齢者支援金等賦課額の限度額を22万円に改正するもの。

#### 【主な質疑】

問 出産費用の見える化について。

答 分娩費用だけでなく、医療機関によって異なる状況であり、該当金額を明確にしながら、現実に見合った金額に沿っていく必要がある。



問 賦課限度額を引き上げた背景は何か。

答 後期高齢者支援金賦課分の超過世帯割合が2%を超え、前年比較で大幅に増加しているため。

#### 【結果】賛成全員で可決

「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例」

【説明】児童福祉法の一部改正により、児童の安全に関し、国の定める基準に従わなければならないとされ、放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の一部改正されたことに伴い、改正を行うもの。

#### 【主な質疑】

問 条例改正前の現行における業務継続計画に該当するものは何か定めているのか。

答 学童クラブの危機管理マニュアルを作成している。問 幼稚園・保育園とは違う。気をつける点は。

答 年齢が幅広く、また登所時間なども様々である点。問 業務継続計画は努力義務だが、本市では全て作成するの。

答 各施設で定めていく。【結果】賛成全員で可決



「2023年度西東京市学生等応援特別給付金の実施に関する陳情」

【市からの説明】給付金の概要としては、新型コロナウイルス感染症の長期化、物価高騰に直面し、困窮している市内在住の大学生等に対し、学びの機会の継続と生活の支援を目的に、1人当たり5万円を給付するもの。令和4年度の給付実績は、速報値で約350名。

【主な質疑】問 令和5年度に実施しない理由は。

答 令和4年度は単年度での実施で制度設計を行った。今後の動向等を注視したい。問 キャッシュレスのポイント還元事業は令和5年度予算に計上しているが、なぜ学生等応援特別給付金の事業は動向を見ないといかないのか。

答 給付金については、今後の動向により検討したい。【結果】賛成全員で採択

#### 建設環境委員会

「手数料条例の一部を改正する条例」

【説明】建築基準法等の一部改正に伴い、手数料条例における所要の規定を整備するもの。改正の内容は、容積率不算入に係る認定制度の創設、高さ制限に係る特例許可の拡充についての手数料の新設、建築物エネルギー消費性能向上計画と低炭素建築物新築等計画の認定についての手数料の新設等。

#### 【主な質疑】

問 手数料条例の具体的な改正内容とそれに伴う改正の影響は。

答 機械室の容積率を緩和する制度は現在もある。省令に定める基準に適合していれば、建築審査会の同意なしで、特定行政庁の認定により容積率に不算入できるとなる。また、特例許可や対象行為の拡充により省エネ改修等がやりやすくなる。より簡便に設計が進められることで申請がしやすくなると考える。

【結果】賛成全員で可決



「高齢者アパート条例の一部を改正する条例」

【説明】住宅確保要配慮者が地域で自立した生活を送ることができるよう、民間賃貸住宅を活用した住宅セーフティネットを構築した上で廃止する基本方針の下、

アパート所有者と返還に関する協議を行ってきた。このたび市内高齢者アパート3棟のうち寿荘については、令和4年度末をもって廃止することとし、所要の規定を改正するもの。

#### 【主な質疑】

問 入居者の転居に係る新居の家賃や引越越し費用などの負担は、どのようにしているのか。

答 転居に係る費用は、高齢者アパート廃止に向けた移転のために、家賃等を助成する制度を設けて対応している。移転先での家賃の他、移転費用等を補助しており、一般的な住宅に移転された方を対象としている。問 所有者とはどのような協議がなされてきたのか。また、居住者への説明や対応の経緯は。

答 高齢者アパートは住宅セーフティネットを構築した上で廃止をしていくという方針を定め、取り組んでいる。所有者には、その方針を示した上で、具体的な時期等は逐次調整している。居住者にも必要な場合に依りて情報提供しているが、居住の安定の観点から、おおむね1年前の段階で、廃止の時期等も含めた説明等をし、転居先を探す等の取組に移行している。

【結果】賛成全員で可決





### 本定例会の 討 論

3月28日に開催された本会議で各会派及び無所属議員による討論が行われました。ここでは、令和5年度の一般会計予算に対する主な討論内容についてお知らせします。  
◇その他の討論は会議録に掲載します。「会議の公開予定」は10面をご覧ください。

## 議案に賛成・反対します

### 令和5年度 一般会計予算

#### 賛成

24名

次世代を担う子どもや若者たちと共に考える機会として、(仮称)子ども・若者平和ワークショップを新たに開催することを評価する。平和のリングと噴水の補修の実施により、平和施策との相乗効果が図られるよう期待する。

次世代への責任ある選択の考えに基づき、当初予算の段階から臨時財政対策債の満額借入れ抑制が断行されたことを高く評価する。

市民からのニーズを踏まえて提案してきたことが多岐にわたって本予算案に反映され、住民福祉の向上が期待できる。

子どもLINE相談事業や保育の安全対策に係る取組、学童クラブの整備、学校司書配置の増員、公共施設の照明LED化の推進、省エネ型家電の買換えなどへの助成事業をはじめとする各種取組に期待する。

市医師会と連携した発熱外来の運営継続、物価高騰対策として国民健康保険料の据置き、給食食材費等の支援、キャッシュレス決済ポイント還元事業などを実施することを評価する。

令和5年度予算にはなかったが、学生等応援特別給付金など若者支援の施策に前向きに取り組むことを期待する。

学校給食費の無償化の予算がないことに納得できないが、今後の動向に期待する。

不足する点、改善が必要な点もあるが、足らざる点については要望、提案を続けていく。

#### 反対

3名

臨時財政対策債の借入れをゼロにした点、保育士が増員されていない点、学童クラブ施設整備が遅れている点、市民サービスの有料化の継続的な検討をしている点、学校給食費の無償化の予算措置がない点、井戸水からのPFASについて対策を行っていない点などにより、本予算に反対する。



採決の様子

討論の様子につきましては、  
市議会ホームページから  
ご覧いただけます。



市議会本会議録面映像  
令和5年第1回定例会(3月28日)

### 議会 NEWS ③

## —— ハラスメントのない西東京市議会を ——

過日、市議会議員によるハラスメントを疑われる不適切な発言が生じたことは、誠に遺憾であり、真摯に受け止めなければなりません。西東京市議会は、このような事案が繰り返されることがないように、ハラスメントの予防・防止対策を講じ、市民の信頼に応え、自由闊達な議論や討議の場として、本来求められる市議会の実現を図ります。

#### 決 議

「ハラスメントのない西東京市議会を目指すことに努める決議」を全会一致で可決しました。

#### プロジェクトチームの設置

西東京市議会では、議会におけるハラスメント防止対策を目的とした「西東京市議会ハラスメント防止対策プロジェクトチーム」を設置し、令和5年度より活動することになりました。

ハラスメント防止対策に関する企画(令和5年度研修の内容等)や、今後の指針作りに向けた課題の抽出、議会における先進事例を収集し、議員間において検討を行います。

#### 研 修

他自治体によるハラスメントの事例等を参考にしながら、議会における防止対策などが主な講義内容でした。

【題目】 議会における政治倫理～パワハラ・セクハラについて～

【日程】 3月27日(月)

【場所】 田無庁舎議会棟4階

【講師】 株式会社地方議会総合研究所 代表取締役 廣瀬 和彦 氏





# 令和5年第1回定例会

# 議案と結果

○:賛成 ×:反対 退:退席

賛否が分かれた 議案の結果	会派名/名前																	結 果											
	自由民主党 西東京市議団 ※							西東京市議会公明党							立憲民主党		日本共産党 西東京市議団		維新・国民民主・ みんなの会		生活者ネットワ ーク		無所属①	無所属②	無所属③				
	稲垣裕二	坂井かずひこ	小林たつや	保谷なおみ	中川清志	山田忠良	とみながゆうじ	佐藤公男	大林光昭	藤田美智子	田代伸之	八矢好美	佐藤大介	森しんいち	下田純一	菅原みほ	大竹あつ子	中村すくる	やまき明美	山崎英昭	小峰和美	鈴木ゆうま	後藤ゆう子	かとう涼子	納田さおり	田村ひろゆき	長井秀和		
令和5年度 一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和5年度 一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議員提出議案 学校給食費の無償化を求める決議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退	○	○	○	○	○	○	○	可決

※議長 酒井ごう一郎は採決に加わりません。

## 全会一致の議案等

件名	結果	件名	結果
令和4年度 一般会計補正予算(第12号)	可決	国民健康保険条例の一部を改正する条例	可決
令和4年度 一般会計補正予算(第13号)	可決	子ども子育て審議会条例の一部を改正する条例	可決
令和4年度 国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可決	児童保育費用徴収条例の一部を改正する条例	可決
令和4年度 後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	可決	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決
令和5年度 国民健康保険特別会計予算	可決	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決
令和5年度 駐車場事業特別会計予算	可決	放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決
令和5年度 介護保険特別会計予算	可決	高齢者アパート条例の一部を改正する条例	可決
令和5年度 後期高齢者医療特別会計予算	可決	損害賠償の額の決定について	可決
令和5年度 下水道事業会計予算	可決	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同意
手数料条例の一部を改正する条例	可決	監査委員の選任につき同意を求めることについて	同意
非常勤特別職の職員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	可決		

陳情の結果  
( )は付託委員会

採択  
○2023年度西東京市学生等応援特別給付金の実施に関する陳情  
(文教厚生)

○西東京市国民保護計画の啓発に関する陳情  
(建設環境)

不採択  
○保谷庁舎解体後の敷地活用に関する陳情  
(企画総務)

○学校における新型コロナウイルス対策に関する陳情  
(文教厚生)

継続審査  
○西東京市議会の議会報告会の開催を求める陳情  
○原爆80年度から提出される陳情の提出者の審査範囲を広げることに  
関する陳情  
(以上2件、議会運営)

次回定例会のお知らせ

■第2回定例会は令和5年6月2日(金)から開催予定です。詳細は、決まり次第ホームページに掲載しますので、ご覧ください。

■請願・陳情の提出期限  
請願・陳情は随時受け付けていますが、第2回定例会中に審査を行うためには、次の日程までにご提出をお願いいたします。

請願 5月31日(水)まで  
陳情 5月26日(金)まで

※定例会開催予定日に変更がある場合は、ホームページ等でお知らせします。

### ■会議録の公開予定

会議名	冊子	ホームページ
・本会議	・情報公開コーナー ・議会図書室 ・市内図書館	5月下旬
・常任委員会 ・議会運営委員会	・情報公開コーナー ・議会図書室	6月下旬
・予算特別委員会		8月下旬

### 会議の開催状況

- ・第1回定例会(会期33日間) 2月24日(金)～3月28日(火)
  - ・第2回臨時会(会期1日間) 4月24日(月)
- ※第2回臨時会の付議案件・結果等については、市議会ホームページをご覧ください。また、審議の概要につきましては次号8月15日号に掲載予定です。



市議会ホームページ  
QRコード  
(日程・付議案件・結果)

会議日程の詳細につきましては、市議会ホームページからご覧いただけます。



お問い合わせ

議会だよりについて  
傍聴等について

議会事務局庶務調査係  
議会事務局議事係

042-460-9860  
042-460-9861

市議会ホームページ

http://www.city.nishitokyo.lg.jp/sigikai/index.html  
gikai@city.nishitokyo.lg.jp

